

兵庫県立但馬農業高等学校いじめ防止基本方針

兵庫県立但馬農業高等学校

1 学校の方針

本校は、校訓「汗をいとわず、命を尊び、日々高きを志す」に込められた教育理念を実現するため、家庭・地域社会と緊密に連携し、生徒の個性と能力を最大限に伸ばし、健全な精神と逞しい体力を育み、望ましい勤労観や勤労意欲の醸成に努め、地域社会を支え、その発展に寄与するところ豊かな人材を育成することを目標とする。

そのため、全ての生徒が安心、安全な学校生活を送れるよう、いじめ防止に向けて日常の指導体制を定め、いじめの未然防止、早期発見、早期対応、早期解決を推進するため「いじめ防止基本方針」を定める。

2 基本的考え方

本校は但馬唯一の農業高校として、豊かな自然環境に包まれた広大な敷地で地域とともに生きる農業教育を実践している。また、土、自然、生き物を相手とする教育をとおして、感動体験を重視した教育を実践している。

体育祭や球技大会、但農祭(文化祭)や農業感謝祭などの学校行事をとおして生徒同士の交流と親睦を図り、協調性や人間性を育てている。また、生徒会での地域行事や各種キャンペーンへの参加、学校農業クラブでの県下の農業高校生や地域との交流、各科での地域の伝統文化への参加や地域の小学校との体験交流、企業とのコラボ商品の開発、PHDとの国際交流など校外の組織や関係機関との交流活動から地域を支え、その発展に寄与できる人材として他者を思いやるころや社会性を育てている。

いじめは、「人として決して許されない行為であり、どの生徒、学校にも起こり得る」という認識のもと、好ましい人間関係を築き、豊かな心を育てる「いじめを生まない土壌づくり」に取り組むため、学校、家庭、地域社会、関係機関が連携しながら取り組まなければならない課題であることを全ての教職員について共通認識を図る。

3 いじめ防止等の指導体制等

(1) 日常の指導体制

いじめの防止等に関する措置を実効的に行うため、管理職を含む複数の教職員、心理等に関する専門的な知識を有するその他関係者により構成される日常の教育相談体制、生徒指導体制などの校内組織及び連携する関係機関を別に定める。

(別紙1)校内指導体制及び関係機関

また、いじめは教職員や大人が気づきにくいところで行われ、潜在化しやすいことを認識し、教職員が生徒の小さな変化を敏感に察知し、いじめを見逃さず、早期発見のためのチェックリストを別に定める。

(別紙2)チェックリスト

(2)未然防止及び早期発見のための指導計画

いじめの防止の観点から、学校教育活動全体を通じて、いじめの防止に資する多様な取組を体系的・計画的に行うため、包括的な取組の方針、いじめの防止のための取組、早期発見の在り方、いじめへの対応に係わる教職員の資質能力向上を図る校内研修など、年間の指導計画を別に定める。

(別紙3)年間指導計画

(3)いじめを認知した際の組織的対応

いじめの疑いに関する情報を把握した場合やいじめを認知した場合は、情報の収集と記録、情報の共有、いじめの事実確認を行い、迅速にいじめの解決に向けた組織的対応を別に定める。

(別紙4)組織的対応

4 重大事態への対応**(1)重大事態とは**

重大事態とは、「いじめにより生徒の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき」で、いじめを受ける生徒の状況で判断する。本校の場合、たとえば、身体に重大な傷害を負った場合、精神性の疾患を発症した場合などのケースが想定される。

また、「いじめにより生徒が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがある場合と認めるとき」であるが、「相当の期間」については、不登校の定義を踏まえ、年間30日を目安とする。ただし、生徒が一定期間、連続して欠席しているような場合には、適切に調査し、校長が判断する。

また、生徒や保護者からいじめられて重大事態に至ったという申し立てがあったときは、校長が判断し、適切に対応する。

(2)重大事態への対応

校長が重大事態と判断した場合、直ちに、県教育委員会に報告するとともに、校長がリーダーシップを発揮し、

学校が主体となって、いじめ対策委員会に専門的知識及び経験を有する外部の専門家である保護司及び民生児童委員等を加えた組織で調査し、事態の解決にあたる。

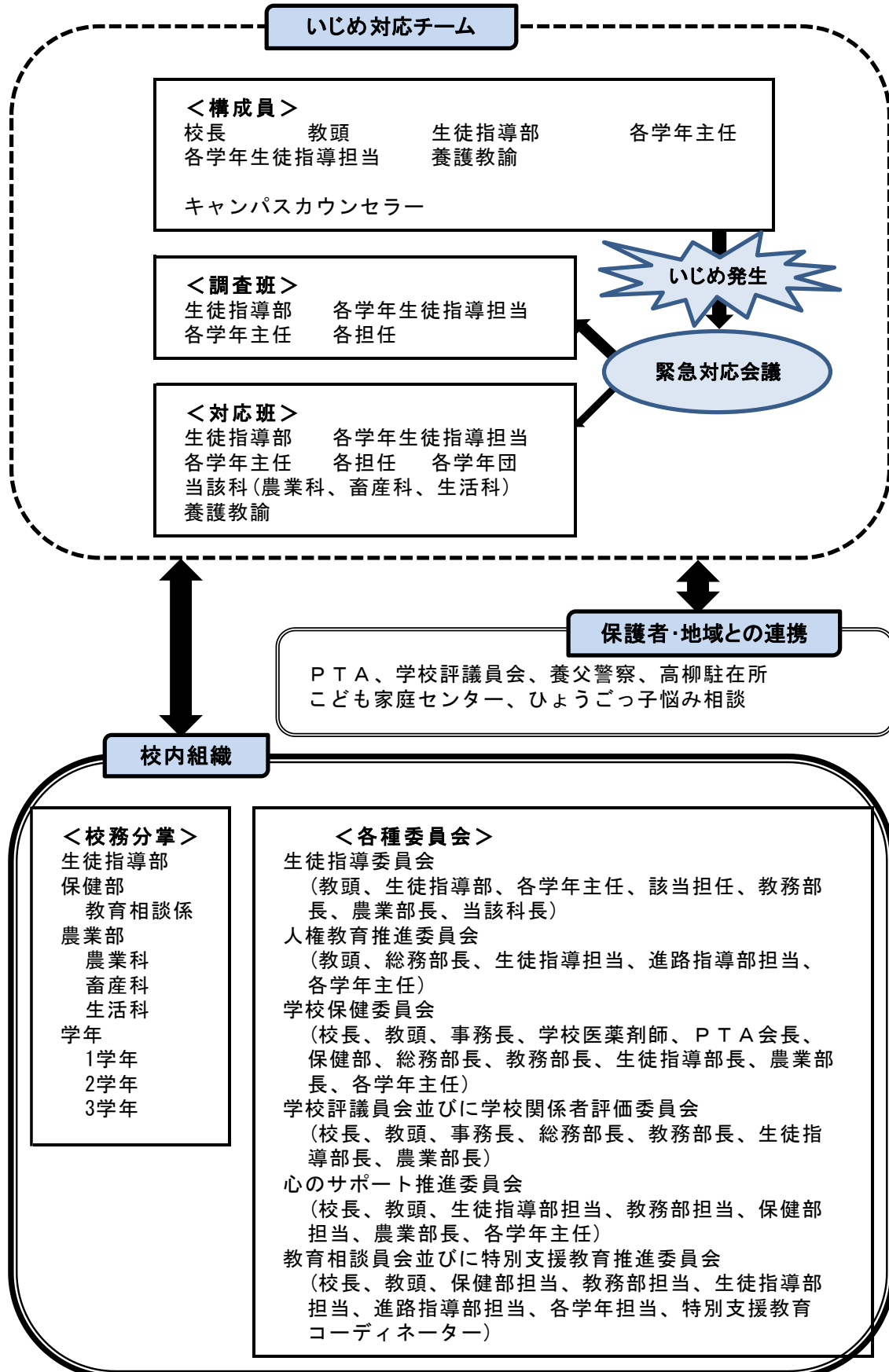
なお、事案によっては、県教育委員会が設置する重大事態調査のための組織に協力し、事態の解決に向けて対応する。

5 その他の留意事項

いじめ防止基本方針については、学校のホームページ等で公開するとともに、学校評議員会や三者懇談会、保護者会などあらゆる機会を利用して保護者や地域に対して情報発信に努める。

また、いじめ防止等に実効性の高い取組を実施するため、学校の基本方針が、実情に即して効果的に機能するように、「いじめ対応チーム」を中心に点検し、必要に応じて見直しを図る。学校の基本方針の見直しに際し、学校全体でいじめの防止等に取り組む観点から生徒の意見を取り入れるなど、生徒の主体的かつ積極的な参加が確保できるよう留意する。また、地域を巻き込んだ学校の基本方針になるように、保護者等地域からの意見を積極的に聴取するように努める。

いじめ校内指導体制



いじめ早期発見のチェックリスト

いじめが起こりやすい環境

- いつも誰かの机や椅子が曲がっていたり倒されていたりする。
- 机に落書きがあったりシールが貼ってあったり彫られたりしている。
- 靴箱に靴が入っていなかったり、乱雑に入れてある。
- 壁やロッカーに落書きがあったり、シールが貼られていたり、非常に汚れていたりする。
- ロッカーの上に色んな物が散乱している。
- ゴミが散乱していたり、ゴミ箱があふれていたりする。
- 掲示物が破れていたたり、取れかけていたりなくなっている。
- 教室内の備品がなくなったり、壊されたりする。
- 教室が乱雑で整理整頓ができていない。また、常に汚れて不衛生である。

いじめが起こりやすい集団

- 授業中、教職員に見えないようにいたずらをしている雰囲気がある。
- グループ分けをすると特定の生徒が残る。
- 学級やグループの中で絶えず周りの顔色をうかがう生徒がいる。
- 自分たちのグループだけでまとまり、そのグループだけが楽しんでいる。
- 些細なことで冷やかしたりするグループがある。
- 班にすると机と机の間に隙間がある。
- 特定の生徒に気を遣っている雰囲気がある。
- 自分たちのグループだけでまとまり、他を寄せつけない雰囲気がある。
- 教師が近づくと、雰囲気が変わり、急に仲の良いフリをしたり、黙り込んだり、分散したりする。
- 遊びだと言いながら激しく叩いたり、蹴ったり、押さえつけたりする。
- 嫌なことや、恥ずかしいこと、危険なことをしたりさせたりしている。
- 人が気にしていることを平気で冷やかしたり、からかったりする。
- 悪口や人の嫌がること、脅しに近い文句を平気で言う。また、それが当たり前だったり、仕方ないという雰囲気になっている。

いじめられている生徒

● 日常の行動、表情の様子

- おどおど、にやにや、にたにたしている。
- 常に周囲の行動を気にし、目立たないようにしている。
- 視線を合わせようとしない。
- いつも友だちに愛想笑いをしている。
- わざとらしくはしゃいでいる。
- 遅刻、欠席、早退や保健室利用が多く一人でいることが多い。
- 体調不良を訴えて保健室をよく利用したり、用事がなくても保健室へ行きたがる。
- いつも職員室の近くにいる。
- 友だちに悪口を言われても言い返さなかったり、愛想笑いをしたりする。
- 活気がなくおどおどし、話すときに不安な表情をする。
- 周囲が何となくざわついている。
- 発言を強要されたり、突然個人名が出される。
- 休み時間は一人でいることが多く、小さな物音に対しても敏感に反応する。
- 教職員の近くによってくることが多かったり、話しかけたまま離れようとしない。
- 持ち物や机に落書きをされたり、隠されたり、壊されたりする。

- ひどいアダ名で呼ばれる。
- ジュースを買いに行かされたり、何かと友だちの用事をさせられている。

● 授業中

- 発言すると友だちから冷やかされる。
- ちょっとした失敗や失言をひどく責められている。
- 教職員がほめると冷やかされたり、陰口を言われたりする。
- 班編成の時に孤立しがちである。
- 教室へいつも遅れて入ってくる。
- 授業に集中できておらず周囲の言動ばかり気にしている。
- 決められた座席と違う場所に座っている。
- 体調不良を訴えて保健室へ行きたがる。
- 不真面目な態度やふざけた質問をする。

● 休み時間

- 一人でいることが多い。
- 教職員の近くにいたがる。
- 遊びだと友人とふざけているが、表情がさえない。

● 昼食時

- 教室内でみんなの輪に入らず、一人離れて食べている。
- 昼食時になると教室から出て一人で過ごしている。
- 弁当を無断で食べられたり、捨てられたりする。
- 食べ物を勝手に食べられたり昼食にいたずらされる。

● 清掃時

- みんなが嫌がるような仕事を押しつけられている。
- 一人で離れて掃除をしている。
- 掃除をさぼることが多くなる。

● その他

- 教室以外のトイレや壁などに個人を中傷する落書きが書かれる。
- 持ち物や机、ロッカーに落書きをされる。
- 衣服が汚れたり、ボタンがとれたり、ポケットが破れたり、髪が乱れたりしている。
- 顔や手足に擦り傷やアザがあり、ケガの状況と本人が言う理由が一致しない。
- 必要以上のお金を持ち、友だちにおごるなどする。
- いつも付き人のように強い者に付き添い行動している。
- 自分の意志ではなく、無理に目立つような行動をさせられている様子がうかがえる。

いじめている生徒

- 活発に活動するが他の子どもにきつい言葉をつかう。
- 友だちとの会話や発言の中に差別意識が見られる。
- 特定の生徒にのみ強い仲間意識をもつ。
- 喜怒哀楽が激しく精神的に稚拙なところが目立つ。
- 教職員によって態度を変える。
- 教師が近づくと、急に仲の良いフリをする。
- 乱暴な言動が目立つ。
- 勉強、友人関係、教師、家庭などで強いストレスを感じているようである。

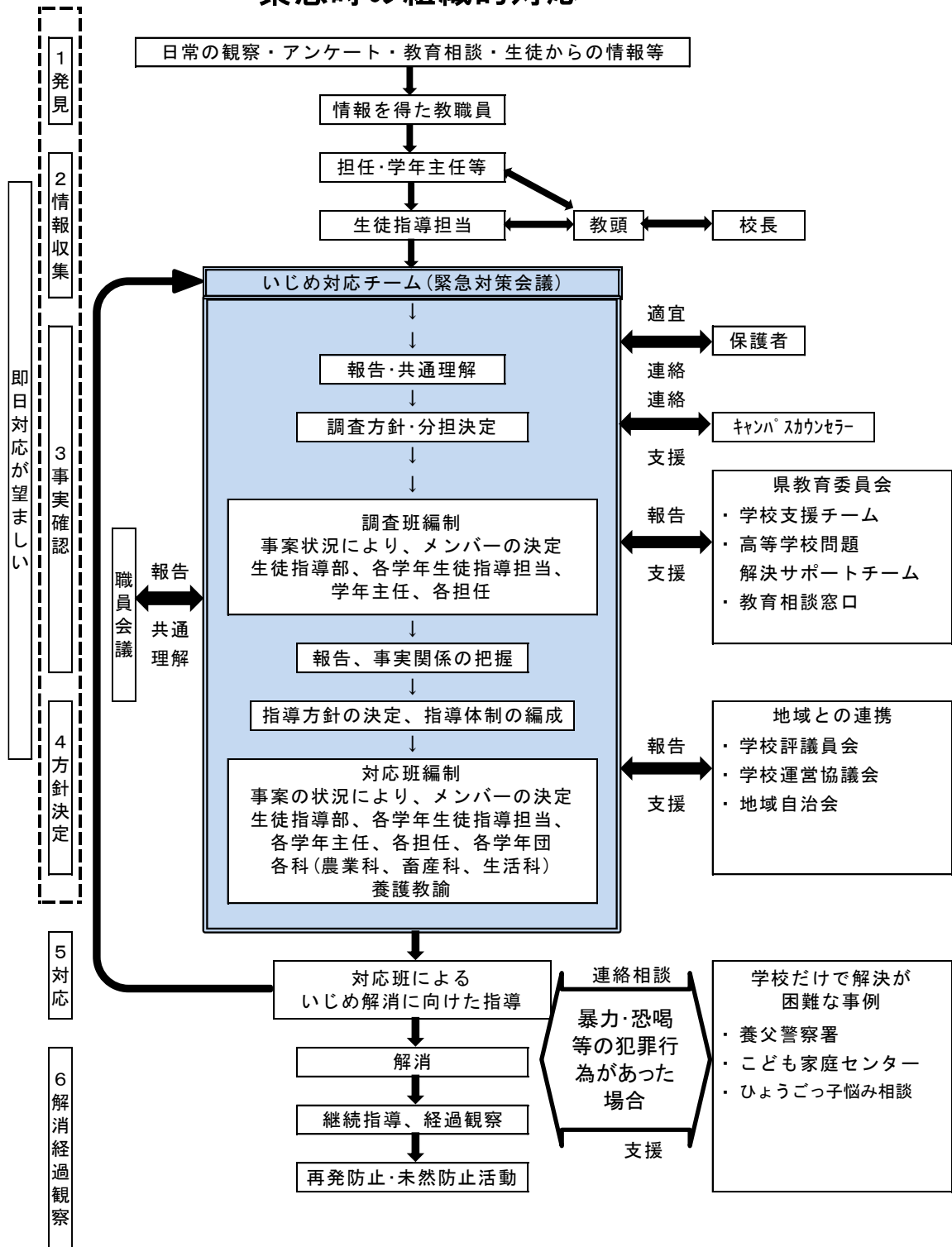
H29年度 いじめ関係年間指導計画

但馬農業高校 生徒指導部

月	職員会議等	未然防止に向けた取組	早期発見に向けた取組
4	会議① 会議②	中学校訪問 自己紹介交流会 春季交通立ち番 Q-Uテスト① 第1学年校内オリエンテーション	面談週間①
5	会議③	いじめアンケートまとめ① 春季農繁家庭委託実習 Cocolo34アンケート	いじめアンケート① 事情確認、対応
6	会議④	公開授業DAYS いじめ未然防止プログラムHR①	生活実態調査
7	会議⑤	外部講話 夏季休業心得 リーダー講習会 学校評議員会① いじめアンケートまとめ②	三者面談 いじめアンケート② 事情確認、対応
8	職員研修会	オープンハイスクール	
9	会議⑥	いじめアンケートまとめ② 秋季交通立ち番、列車指導 秋季農繁家庭委託実習	面談週間②
10	会議⑦	Q-Uテスト② いじめアンケート③	いじめアンケート③ 事情確認、対応
11	会議⑧	但農祭 オープンハイスクール 農業感謝祭 いじめ未然防止プログラムHR②	
12	会議⑨	外部講話 冬季休業心得 いじめアンケートまとめ④	三者面談 いじめアンケート④ 事情確認、対応
1	会議⑩		
2	会議⑪ 職員研修会	学校評議員会② いじめアンケートまとめ⑤ いじめ未然防止プログラムHR③	いじめアンケート⑤ 事情確認、対応
3	会議⑫	1年生対象エゴグラム教室 春季休業心得 中学校訪問	
備 考	<p>年間を通して行う取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ①朝の校門立ち番による見守り ②昼休み校内巡回指導による見守り、異変の早期発見 ③担任による放課後教室見回りによる変化の気づき ④心の相談室開放(教育相談委員会及び特別支援教育推進委員会と連携) ⑤キャンパスカウンセラーの先生との連携、情報収集、情報交換 ⑥各職員からの情報共有 		



緊急時の組織的対応



生命又は身体の安全がおびやかされるような重大な事案が発生した場合

- ① 速やかに県教育委員会や警察等の関係機関へ報告する。
- ② 県教育委員会の支援のもと管理職が中心となり、学校全体で組織的に対応し、迅速に事案解決にあたる。
- ③ 事案に必要性があれば、当事者の同意を得た上で、説明文書の配布や緊急保護者会を実施する。
- ④ マスコミ対応は情報の窓口を一本化して誠実な対応に努める。